

令和5年度岐阜県精神保健福祉士協会事業計画（概要版）（仮）

目的	○精神保健福祉専門職としての資質の向上 ○県民の精神保健福祉の発展 ○精神障がい者の社会的復権と福祉 上記のための専門的、社会的活動を進めること												
事業内容	1 精神保健福祉士の資質の向上及び精神保健福祉士の育成に関する事業 2 精神保健福祉の正しい知識と理解の促進に関する事業 3 精神保健福祉の企画立案及び調査に関する事業 4 県民の精神保健福祉向上に寄与する事業 5 日本精神保健福祉士協会岐阜県支部の活動に協力する事業 6 行政機関及び関連団体等との連絡協調に関する事業 7 会員の福祉向上に関する事業 8 その他前条の目的の達成のために必要な事業												
年度目標	ポストコロナを見据えた新しい体制づくり（新しい体制への模索を含む） （重点項目） ※以下の項目を意識しつつ、協会運営に取り組んでいく ①理念・価値観の形成（職業的自立、社会的責任の自覚と遂行） ②理念・価値を支える支援技術と知識の獲得（実践と研修を通してのスキルアップ） ③上記を達成するための補完的機能（協会専門職によるネットワーク・仲間づくり）												
会議スケジュール	会議体	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	総会				●								
	理事会	●		●						●			●
	権利擁護委員会（担当：松田美里）												
	目標		●		●		●		●		●		●
	虐待問題を人ごとでなく、精神保健福祉士みんなで考えていけるような機会を作る。												
	災害対策委員会（担当：太田理事）												
	目標						●						●
	災害時対応を想定した圏域ネットワークの強化												
	研修委員会（担当：松田理事）												
目標	●		●		●	●				●		●	
研修ニーズを把握し、ニーズに沿った研修を開催する													
広報委員会（担当：松田理事）													
目標				●									
機関誌の発行（年1回）													
研修等スケジュール	ネットワーク		●		●		●		●		●		●
	西P会			●				●				●	
	東P連												
	中濃取り組み発表会											●	
	中濃アウトプット研修会							●					
	三県合同初任者研修									10月～12月開催予定			
	キャリア支援研修会（旧：新人研修）						●						
	基幹研修Ⅰ							△					
	飛騨圏域 ※構成員の把握とつながり												
その他													
収支計画	別紙令和5年度予算資料参照												